

お客様の声がTHKに、 THKの声がお客様に届くように

THKを取り巻く経済環境

2014年度の世界経済は、米国の低金利政策の継続による景気好調が牽引して、緩やかな回復基調を維持しました。日本では消費増税による反動減から2回目の増税を1年半先延ばしし、さらに日銀による大幅な国債買入れによる金融緩和により、景気はようやく回復の兆しを見せ始めました。さらに欧州経済は、ギリシャ金融危機の一服感から回復の傾向が見られましたが、中国では過去の過剰な金融緩和による通貨のダブつきと過剰設備によるデフレ傾向から、景気は低迷いたしました。

このような環境下でTHKは、市場の拡大を目指して「グローバル展開」と「新規分野への展開」を成長戦略の柱に据えて活動してまいりました。

「グローバル展開」では、先進国の工場が新興国に進出した後、さらにFA (Factory Automation) 化を求めていることから、新興国でのFA市場への浸透を目指して販売網の拡充に努めております。営業面では、アセアン諸国で現地進出する日系企業に対して日本語でサポートする体制を構築すべくASEAN Customer Supportを開設し、現地での巡回サービスに努めました。また、インドでは新たに3支店の開設を行いました。生産面では、中国にて大連THKの生産能力増強のため新工場を建設し移転を完了いたしました。

「新規分野への展開」では、再生可能エネルギー、航空機、ロボット、建機、福祉・介護・リハビリ等の分野で市場の開拓ならびに拡販に努めました。再生可能エネルギー分野では、風力・水流発電装置の稼働データを元に、より最適な部品開

発を進め、風力発電用の低トルクシャフトユニットの量産を開始しました。水流発電では、海外での実証実験に続き、日本国内の農業用水路での実証実験を開始いたしました。

お客様の声がTHKに、 THKの声がお客様に

昨年発表しました中期経営計画では、成長戦略を強力にとることを謳いました。そのための基本戦略は、先に触れた「グローバル展開」と「新規分野への展開」であります。この達成のためには、世界中のお客様の声が細大漏らさずTHKに届くこと、逆にTHKの声が世界中のお客様に届くことが大事です。このために、第一番に営業マンの増員により「FACE TO FACEでお客様との接点を増やす」こと、流通網の強化、ビッグデータの活用、Webによる宣伝広告、新聞、雑誌、展示会、ダイレクトメール等により、お客様との接点をさらに増やしております。

THKの経営理念は、創業以来「世にない新しいものを提案し、世に新しい風を吹き込み、豊かな社会作りに貢献する」というものであります。すなわち、お客様がどんなことにお困りなのか、何を欲しておられるのか、クレームといった様々な情報を吸い上げ、お客様自身も気付いておられない用途、品質への提案をし、お客様の機械や装置が付加価値の高いものとなるよう当社製品や情報の提供をし続けるよう取り組んでおります。

THKは「より良い製品を、適切な価格で、必

要なときに、必要なところで、必要な量だけ」欲しいというお客様の要求に即座に対応できるように日本、米州、欧州、アジアの4極で「消費地における製販一体体制」の構築を進めております。これにより、お客様の機械やものづくりの競争力が格段に上がるよう、お客様の立場に立った製品供給体制を作っております。

最後に

当社は、1. 価値創造と社会貢献、2. 顧客志向、3. 法令等の遵守の3つからなる「THK基本方針」を制定し事業活動を行っております。

この基本方針のもと、創造開発型企業として独創的な製品開発や独自の生産技術等によって企業価値の増大を目指します。さらに、公正かつ安全に事業を行うことで、お取引先をはじめとする全てのステークホルダーの皆様とのより良い関係作りを心掛け、さらには、持続可能な環境保全に協力し、適時・適正な情報開示に努め、社会の一員としての責任を積極的に果たしてまいります。今後とも独創性に磨きをかけ、より高品質な製品と高度なサービスの提供に努めてまいります。何卒倍旧のお引き立てを賜りたくお願い申し上げます。

なお、今回のCSRレポートでは、この基本方針に則って、「本業を通じた社会貢献」や創造開発型企業としての「新規分野への展開」の例を掲載いたしました。是非ともご覧いただきますようお願いいたします。



THK株式会社 代表取締役社長

寺町彰博